

## ミニ集会のお知らせ

まもなく、3月となりますが、まだまだ寒い日が続いております。春が待ち遠しいですね。皆様、いかがお過ごしでしょうか。これから春に向けて気持ちも新たに、また、情報共有をしましょう。お身体には十分気を付けてミニ集会へお出かけください。お待ちしております。

### 記

日 時：平成 27 年 2 月 22 日（日） 13：30～15：30

参加費：300円(茶菓を準備します)

場 所：慶應義塾大学信濃町キャンパス孝養舎（看護医療学部）

4階401教室（いつもと違う部屋ですのでご注意ください。）

〒160-8582東京都新宿区信濃町35慶應義塾大学看護医療学部

<http://www.sc.keio.ac.jp/access.html>（←地図をご参照ください）

\*ご出席の事前連絡は必要ございません。

連絡・問合せ先：メール：takeday@sfc.keio.ac.jp（武田）TEL 03-5363-2064

当日は090-9833-5078にご連絡お願い致します。



## 第3回 家族性大腸腺腫症セミナー 東京医科大学消化器内科 糸井隆夫先生

年明け最初の集会は、1月24日（土）国立がんセンター中央病院で、初めての土曜日での開催でした。

第3回家族性大腸腺腫症セミナーが行われ、東京医科大学消化器内科の糸井隆夫先生が「十二指腸乳頭部腫瘍の内視鏡診断と治療」についてご講演くださいました。

内視鏡治療の中でも、難しい手技である十二指腸乳頭部腫瘍の治療を140例と、関東で最も多く経験されている先生のお話を伺う貴重な機会となりました。

ご講演は、消化管の説明から始まり、十二指腸乳頭部腫瘍の診断、腺腫と腺癌、十二指腸乳頭部腫瘍の治療、と興味深いものであり、その内容を報告いたします。

### 1) 消化管について

消化管は、食道～大腸（肛門）までを含むが、FAPで診ていかなければならないのは胃～大腸であり、大腸の次に検査が必要となる十二指腸乳頭部は、胃から15cm程度の位置にあり、胆管、膵管の出口となっている。食事をすると乳頭部の筋肉が緩くなり胆汁・膵液が出てくる。

### 2) 十二指腸乳頭部腫瘍はどのように診断するのか？

無症状なことが多く、進行に伴い、肝機能障害・黄疸、膵炎、出血がみられることがあるが、症状が出て診断されるのは10%以下である。

診断には、血液検査、超音波検査（US）、CT（コンピューター断層撮影法）、MRI（磁気共鳴映像法）、MRCP（磁気共鳴膵胆管造影法）、上部消化管内視

鏡が用いられる。

内視鏡で診て、正常と腫瘍を判断するのは難しい。内視鏡では、直視鏡（レンズが正面）と側視鏡（レンズが側面）が使用されるが、乳頭部との位置関係などを把握するためには側視鏡検査を行う。内視鏡下生検で組織を取って検査する。

### 3) 腺腫と腺癌

良性腫瘍は乳頭部腺腫、悪性腫瘍は乳頭部腺癌であり、進行、転移という性質を持つ。

腺腫は腺癌になるのかどうかは重要であり、大腸においては癌化の流れとされているが、乳頭部ではわかっていない。一方、腺腫がなくても癌は発症する。

腺腫は前癌病変としてとらえられているが、腺腫が癌になるとは限らず、頻度は多くない可能性がある。

### 4) 十二指腸乳頭部癌の治療

EUS（超音波内視鏡；内視鏡の先に超音波）を用いることで、表面だけではなく、奥の状態を観察できる。治療方針の決定に有用であり、胆管、膵管との位置関係を確認し、切除範囲を決定できる。

内視鏡で治療できる腫瘍の大きさは、3-4cmを一つの指標としている。分割で取る場合もある。外科的にPD（膵頭十二指腸合併切除）が必要かどうかは、表面的な大きさよりも深さが重要である。

ERCP（逆行性膵・胆管造影）では、直接的な胆管、膵管造影ができる。

治療法としては、①経過観察、②内視鏡的乳頭切除術、③外科的切除術、④全身化学療法がある。外科的手術として、膵頭十二指腸切除術を行えば、早期では再発は100%ない。合併症は26%、手術死亡は13%である。経十二指腸的腫瘍切除術による縮小手術では、再発の問題がある。

正常な乳頭は1cmもないので、内視鏡的乳頭切除術は手技が難しい。ガイドライン上は試みとされている。

治療方法による再発率、合併症（出血、膵炎、穿孔）、手術死亡率の比較は以下のとおりである。

	内視鏡	縮小手術	PD
再発率	16%	26%	0%
合併症	22%	29%	26%
手術死亡率	0.03%	0.03%	13%

内視鏡的乳頭切除術は 1983 年から日本で行われている。

手技は 15-20 分程度であり、これまでに膵炎、輸血を 2 例経験している。

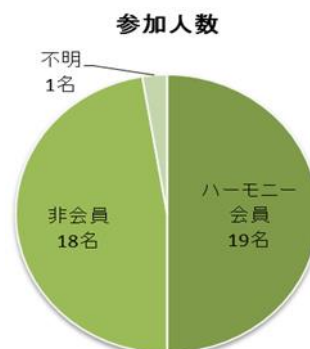
スネアによる電氣的腫瘍切除を行い、胆管・膵管ステントを挿入し、止血処置と肛門側のクリップによる切開創の縫縮を行っている。遺存腫瘍についてはレーザー治療をおこなう。

治療後は、おなかが緩くなる、狭窄が生じることがあるが、それぞれ 1% 以下である。

アンケート回収： 32 枚

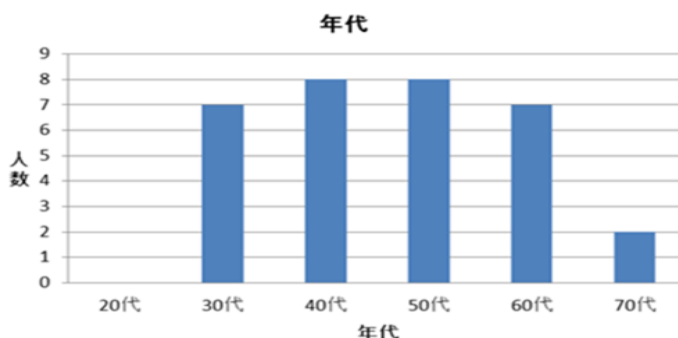
● **参加者（アンケート回答内訳）：**

患者本人 25 名、家族 6 名、不明 1 名



● **年代**

年代	人数(名)
20代	0
30代	7
40代	8
50代	8
60代	7
70代	2

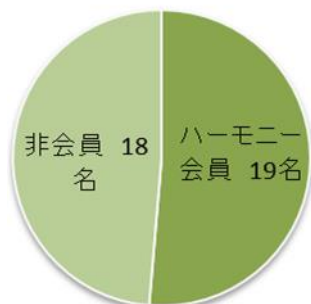


**第 3 回家族性大腸腺腫症セミナー  
兼患者会(2015. 01.24) 実施報告**

● **参加人数：37 人**

(ハーモニー会員 19 名・非会員 18 名)

参加人数

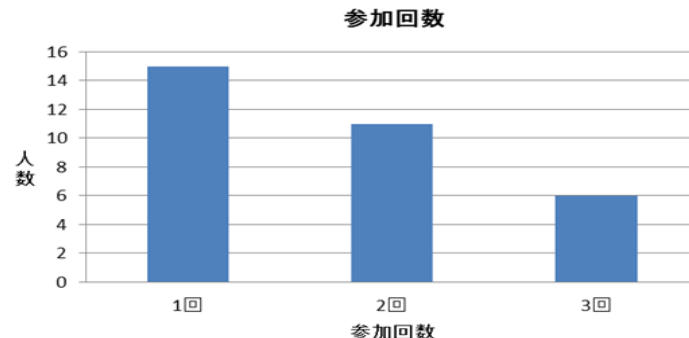


● **参加スタッフ：18 名 + 糸井先生**

**計 56 名**

● **参加回数**

参加回数	人数(名)
1回	15
2回	11
3回	6



● **参加動機**

	参加動機	人数(名)
①	病気についての知識を得たい	27
②	家族性の腫瘍の病気について学びたい	25
③	病気自体についての最新の知識などを学びたい	25
④	病気の治療(新しい治療を含む)について学びたい	24
⑤	同じ立場の人の話を聞きたい	23
⑥	お知らせの手紙を見て	17
⑦	定期受診や検査について学びたい	17
⑧	生活に役立つ情報を得たい	16
⑨	会の目的・プログラムに賛同して	14
⑩	前向きに生きるためのきっかけがつかみたい	12
⑪	不安な気持ちに対応したい	11
⑫	病気をコントロールする方法について考えたい	11
⑬	病気とともに生きることを学びたい	10
⑭	これからの計画の参考にしたい	10
⑮	家族としてどう接すればよいかヒントがほしい	5
⑯	その他 FAPという病気を探求したいという好奇心	1

● **参加者の満足度**

	大変そう思う	ややそう思う	あまり思わない
① セミナーの内容はためになった	29	0	0
② セミナーの内容が理解できた	22	8	0
③ ご自分の体験や気持ちを話すことができた	13	11	1
④ グループでの話あいに入りやすかった	21	6	0
⑤ ほかの参加者の話は有益であった	18	4	0
⑥ 現在の自分に自信を感じることができた	13	11	1
⑦ 今後に役立つような情報が得られた	23	5	0

● **感想(自由記入)**

<講演について>

- \* 十二指腸乳頭部のポリープ・がんについての説明、切除方法についての講演が聞け大変参考になりました。
- \* 大変参考になり、内視鏡でも治療の方法がいろいろあることがわかりました。説明も大変わかりやすく勉強になりました。

- \* とてもよくわかりました。(講演について)
- \* わかりやすく自分にとって大変良い講演でした。
- \* ちょっと難しい話もありましたが、非常に良かったと思います。ためになりました。
- \* とてもわかりやすく勉強になりました。
- \* 糸井先生の治療の内容を詳しく聞くことができよかったです。
- \* 大変参考になりました。
- \* 今までわからなかったところがわかるようになって少し安心しました。
- \* 十二指腸乳頭部の内視鏡切除を予定しているので大変わかりやすかった。
- \* 糸井先生の人柄がよくわかり安心した。
- \* 貴重な症例をお話し頂き、勉強させて頂いた。
- \* 非常にわかりやすかった。スライドに動画があり、理解が進んだ。
- \* 非常にわかりやすい情報で、知識として役に立ちます。
- \* 知らなかったことがよくわかった。大変参考になりましたし、わかりやすかったです。
- \* ものすごくわかりやすく、今後どうしていけばいいのかなど考えさせられた。
- \* とてもわかり易く専門的な知識を得ることができた。今後の治療の参考にさせていただきたい。
- \* とてもよかったです。
- \* 大変良かったです。わかりやすかったです。
- \* 多くの情報を教えて頂き大変参考になりました。
- \* 初めてだったので難しかったが、少しは理解できたと思います。
- \* 初めて参加させていただきました。手術も終わり、年月がたっているため、安心しきっておりましたが、新たな気持ちで気を付けていきたいとおもいました。
- \* 大変為になりました。ありがとうございました。
- \* 大変良かったです。

<懇親会について>

- \* 先生方や同じ境遇の方の意見・話ができためになりました。

- \*いろいろな皆さんの話が聞けて良かったです。
- \*今日来てみて、たくさんの方が参加していてびっくりしたのと私だけではないことを改めて思いました。
- \*知らない方々とお話ができてよかったです。
- \*毎回違う方々とのFAPについてのお話や皆さんの悩みなど様々あると思い、懇親会の機会を増やせればと思いました。
- \*複数のグループで話したいが、時間が少ない。
- \*よかったですと思います。
- \*中島先生に診ていただいて、力になってもらっている患者さんが多い。先生のおかげです。
- \*貴重な情報交換の場となった。ハーモニーライフのような情報提供の場、またそこで得た情報をもとに自分から動いていくことの大切さを再認識しました。
- \*患者さんの生の声を聴けるので大変役に立ちました。
- \*いろいろな方の生活の工夫などお話が聞けてよかったです。前向きになれました。
- \*同じ立場・家族の立場の具体的な話が聞けて良かった。
- \*有意義な楽しいひと時を過ごさせていただき、ありがとうございました。
- \*同じ病気の人たちが多くいることで不安な気持ちから少し安心しました。

#### <今後、取り上げて欲しいテーマ・意見・感想>

- \*最新の治療について
- \*FAPの生活・大腸切除後の生活・苦悩などHPでは得られない実際の生活の情報をたくさんの事例から、学び、知りたい。
- \*FAPの子供への病気の伝え方
- \*FAPの方がなり易い合併症などまたその治療
- \*術後の生活・症例など 生の声 Q&A式とか取り上げてほしい。
- \*若年FAP患者の年齢別の症例のモデルケース
- \*やはり土日のほうが参加しやすかったです。
- \*アスピリンが予防的に有効かをききたいです。

- \*子供への告知・遺伝子診断の重要性
- \*薬での治療ができないかどうか教えてほしい。または将来に向けての前向きな状況があれば教えてほしい。
- \*失禁・遺伝子検査・精神的フォロー
- \*対応できる病院
- \*遺伝子の情報

#### 会費納入について

会費の納入方法は銀行の振込です。必ず会員の方のお名前を明記してください。

「ハーモニー・ライフ」では、随時会員の入会を受け付けております。入会申込書にご記入いただき事務局にお送り下さい。同時に年会費（2000円）を振り込んで下さい。会費の納入が確認でき次第、会員として登録させていただきます。入会を希望される方がいらっしゃれば、是非ご紹介下さい。ご不明な点については、事務局に文書でお問い合わせ下さい。

<年会費の振込先>

りそな銀行 横浜支店 普通1594211  
名義：ハーモニーライフ タケダユウコ

#### 編集後記：

今回は、第3回家族性大腸腺腫症セミナーでの東京医科大学消化器内科 糸井隆夫先生によるご講演の内容や、アンケート結果を集録させていただきました。この内容を当日ご出席できなかった皆様とも共有していきたいと思っております。

今年度もあと残すところ1か月となります。また、来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

慶應義塾大学看護医療学部

高畑 和恵

